

長野県出資等外郭団体改革状況検証シート (商法法人用)

1 団体の概要

団体名 (所在地)	株式会社 長野協同データセンター (長野市安茂里1089)		代表者	小川 秀夫	
設立根拠	商法	設立年	平成2年	県所管部 局(課)	商工部(雇用・人材育成課)
〔設立の沿革〕			〔設立目的(寄付行為・定款上)〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>平成2年、重度障害者の多数雇用モデル企業として設立。</li> <li>平成3年、操業開始。</li> </ul>			障害者も健常者もともに生活し、働けるようにすべきとの理念に基づき、重度障害者の多数雇用モデル企業として設立。		
〔具体的な事業内容〕			〔事業執行状況を示す主な指標〕		
<ul style="list-style-type: none"> <li>街路灯管理システム、上下水道管理システム、土地情報システム開発受託</li> <li>国土調査、農林道台帳整備受託</li> <li>航空写真図化、遺跡調査図化受託</li> <li>都市計画基礎調査受託</li> </ul>			受注高 H15:250,084千円、H16:217,506千円、H17:214,166千円		
基本財産(円)	100,000,000円	うち県の出 捐額(円)	30,000,000円	県出捐 率(%)	30.0%
〔主な出捐者・出捐額(円)・出捐率(%)〕					
<ul style="list-style-type: none"> <li>(株)協同測量社 55%</li> <li>長野市 15%</li> </ul>					

\* 役員数及び平均年齢は各年度当初現在、平均年収は平成18年度当初現在の状況。

役員数	年 度		H15	H16	H17	H18	H19
	役員数	常 勤	うち県職員	3	2	2	2
非 常 勤			4	3	4	4	4
職員数	常 勤	うち県職員	23	22	24	20	17
		非 常 勤	0	0	0	0	0
県職員計(非常勤役員除く)			0	0	0	0	0
役員平均年齢	47	役員平均年収(千円)	6,443	職員平均年齢	39	職員の平均年収(千円)	3,058

\* 次表は17年度の状況で、( )内は15年度

(単位:千円、%)

収支状況	17年度		15年度		県費受入状況	17年度		15年度	
	売上高	222,147	(188,168)	補助金		0	(0)	事業費	0
営業損益	5,955	( 10,629)	運営費	0	(0)	交付金	0	(0)	
経常損益	2,263	( 3,291)	負担金	0	(0)	委託料	0	(0)	
当期損益	8,977	( 7,071)	貸付金	0	(0)	出捐金	0	(0)	
次期繰越損益	38,333	( 26,941)	損失補償年度末残高	0	(0)	人件費関係費用(再掲)	0	(0)	
財務・資産関係指標	収支比率	101.0 (98.4)	自己資本比率	36.8 (55.6)	流動比率	170.6 (193.4)	固定比率	135.4 (104.7)	
	人件費比率	9.7 (11.6)	借入金依存率	41.1 (27.9)	自己資本純利益率	13.3 ( 6.6)	使用総資本計上利益率	1.2 ( 1.7)	
	売上高総利益率	15.3 (18.8)							
	売上高営業利益率	2.7 ( 5.6)							
	売上高経常利益率	1.0 ( 1.7)							

経営計画等の策定状況

専門家による経営診断の受診を受けて、各期ごとに経営計画方針と目標を定めている。

民間(NPO含む)との競合状況

情報公開の取組状況

情報公開要綱に基づき、経営状況資料等を公開(H13.7.1~)

2 団体の改革推進の状況

改革基本方針	事業推進に対して積極的に支援
--------	----------------

改革基本方針及び改革実施プランの概要		実 施 状 況	
実施年月		実施年月	
H16年度 通年	県における障害者多数雇用事業者への優先発注制度の徹底	H16年度 7~3月	随時県の全機関に対し、優先発注制度周知文書通知
6月決算後	中小企業支援センターの企業診断事業を活用した経営診断の受診を勧める	8月	専門家(中小企業診断士)による、診断助言実施計画策定
		9~2月	専門家(中小企業診断士)の助言による、部門別経営革新計画の策定
10月	障害者民間活用委託訓練の利用	10月	障害者民間活用委託訓練の実施

〔監査結果等〕

長野県監査委員による平成17年11月17日実施の財政的援助団体等の監査結果(意見)  
改革基本方針の実施状況については、会社事業の推進に対し県は積極的に支援するとされているが、これまでに十分な支援がなされたとはいえない。会社では、中小企業支援センターの経営診断を受け、経営計画方針を立て業績の回復に取り組んでいる。

〔団体の課題〕

過去の損益実績と現況から、現在の事業体制を継続するには、経営改善計画から売上高2億2千万円(損益分岐点)が必要となるため、受注・売上が厳しい状況の中、新規顧客・新規業務の開拓、及び生産性改善、コストダウンなど経費の削減に取り組んでいる。

長野県出資等外郭団体改革状況検証シート (公益・特別法人用)

1 団体の概要

団体名 (所在地)	財団法人 長野県アイバンク・臓器移植推進協会 (長野市若里5-22-1)		代表者	大西 雄太郎		
設立根拠	民法	設立年	平成元年	県所管部 局(課)	衛生部(医療政策課)	
〔設立の沿革〕		〔設立目的(寄付行為・定款上)〕				
・平成元年、財団法人長野県腎バンク設立。 ・平成6年、財団法人長野県腎バンク・アイバンク協会に変更。 ・平成10年、財団法人アイバンク・臓器移植推進協会に変更。		眼球提供者の登録及び角膜移植に必要な角膜の斡旋を行い、併せて広く臓器移植に関する知識の啓発、普及、調査研究事業及び臓器移植のための諸条件の整備、援助等を行うことにより、臓器移植の推進を図り、もって県民福祉の向上に寄与する。				
		〔具体的な事業内容〕				
		・年間約3,000人の眼球提供登録、アイバンク登録票の発行 ・ドナーカードの発行				
		〔事業執行状況を示す主な指標〕				
基本財産(円)		260,000,000円	うち県の出 捐額(円)	40,000,000円	県出捐 率(%)	15.4%
		〔主な出捐者・出捐額(円)・出捐率(%)〕				
		・ライオンズクラブ334-E地区 58.1% ・県市長会 2.1% ・県町村会 1.4%				

\* 役員数及び平均年齢は各年度当初現在、平均年収は平成18年度の状況。

役員数	年度	H15		H16		H17		H18		H19	
		役員数	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1
		うち県職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
		非常勤	22	22	22	22	22	22	22	22	
		うち県職員	2	2	2	2	2	2	2	2	
職員数	職員数	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	
		うち県職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
		非常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	
県職員計(非常勤役員除く)			0	0	0	0	0	0	0	0	
役員平均年齢	-	役員平均年収(千円)	-	職員平均年齢	-	職員の平均年収(千円)	-				

\* 次表は18年度の状況で、( )内は15年度

(単位:千円、%)

収支状況	当期収入合計		13,243		(10,953)		補助金	4,721		(0)	
		当期支出合計	13,748		(10,867)			事業費	4,721		(0)
	当期収支差額	505		(86)		運営費	0		(0)		
	次期繰越額	3,231		(4,863)		交付金	0		(0)		
財務・資産関係指標	自主事業比率	100.0	(100.0)	正味財産比率	99.9	(99.9)	負担金	0		(0)	
	公益事業比率	100.0	(100.0)	流動比率	-	-	委託料	0		(0)	
	収支比率	96.3	(100.8)	固定比率	92.9	(92.6)	貸付金	0		(0)	
	人件費比率	60.8	(33.3)	固定長期適合率	92.9	(92.6)	出捐金	0		(0)	
	管理費比率	52.8	(27.2)	借入金依存率	-	-	損失補償年度未残高	0		(0)	
	事業支出伸び率	23.6	(13.8)				人件費関係費用(再掲)	4,721		(0)	
補助金等比率	27.8	-									

経営計画等の策定状況	
民間(NPO含む)との競合状況	
情報公開の取組状況	臓器移植に関するパンフレットを作成し、県民に配布

2 団体の改革推進の状況

改革基本方針	事業推進に対して積極的に支援	
改革実施プラン策定	-	

改革基本方針及び改革実施プランの概要		実施状況	
実施年月		実施年月	
平成16年度～	・団体職員の人件費を補助金化	平成16年4月	・補助金を交付
平成16年度中	・事業運営の在り方を検討	平成16年	・小委員会を設け、事業運営のあり方を検討し、県へ報告書を提出した。
平成17年度～	・普及啓発事業等へ必要に応じて支援	平成17年度～	・イベント時におけるパンフレット配布等、関係団体・コーディネーターと連携し支援を行っている。

〔監査結果等〕	
---------	--

〔団体の課題〕	普及啓発等の事業に努めているが、献眼件数や移植件数について、目に見えた増加につながっていない状況がある。
---------	--